



20キロの部のスタート

# 第50回 熊日菊池 桜マラソン大会

## 菊池の春を満喫



スタート前、主催者の「元気あるか〜」の掛け声に答える参加者

4月3日(日)に熊日菊池桜マラソン大会があり、約500人が参加して健脚を競いました。選手たちは、竜門ダムを折り返す20キロと、雪野駐在所先を折り返す10キロ、架装尾区を折り返す5キロの3コースに分かれて、桜が咲き始めた菊池地域振興局前をスタート。市営中央グラウンドのゴールを目指しました。この大会は、昭和31年から始まり今回が50回目の開催で、熊本県内でも有名なマラソン大会になっています。



5kmの部をトップでゴールする選手

上位の結果は、次のとおりです。(敬称略)

20キロ	10キロ	5キロ
1位 佐藤 達也 2位 梅木 章宏 3位 浦本 秀志 一般男子40歳未満 1位 村山 浩敏 2位 大村 岩四郎 3位 甲斐 喜雄	1位 佐々木 和子 2位 白石 正子 3位 神谷 美衣 一般女子 1位 村上 保幸 2位 江田 重寿 3位 田代 啓介 一般男子40歳以上 1位 岩本 憲一 2位 星本 英治	1位 宮崎 祐行 2位 山本 大 3位 長友 一泰 一般男子40歳以上 1位 山下 英雄 2位 家入 正一 3位 相馬 一也 一般女子40歳未満 1位 田端 愛 2位 坂本 美保 3位 穴井 志穂



曇り空の中、菊池市民広場であった開会式では、石井光幸市長職務執行者が「練習の成果を発揮して完走し、お互いの親睦を深めてください。そして、健康を「貯金」してください」とあいさつ。

福岡県から参加した井上千加子さんが「楽しく精一杯走りま〜す」と選手宣誓しました。

午前10時、竜門ダムを折り返す20キロが菊池地域振興局前をスタートし、5分後に5キロが、さらに5分後に10キロがスタートし、沿道からの声援を浴びながら、県内外から参加した

### 健康を「貯金」

## マイペースで健康増進



選手宣誓の井上千加子さん

約500人は、市営中央グラウンドのゴールを目指し快走しました。

5キロに参加した選手は「桜が満開ではないのが少し残念ですが、気持ちよく走ることができました。来年もまた参加したいです」と話されました。

例年では満開になっている会場周辺の桜は2分咲き程度で、時折、雨が降るなか、参加者は健康づくりと一緒に少し遅い春も満喫しました。

この大会は、菊池市・熊本日日新聞社・菊池市教育委員会が主催し、菊池市体育指導委員会協議会・同市陸上競技協会が主管して、毎年この時期に開かれています。



スタート地点でランナーに声援を送る家族連れ

### 温泉の恵みに感謝 4月3日(日)菊池温泉薬師祭

菊池温泉街にある薬師堂で温泉の恵みに感謝する薬師祭があり、菊池温泉観光旅館協同組合に加盟する12の旅館から関係者など約50人が参加しました。雨が降る中、薬師堂ではお寺の住職がお経を読み、それぞれの旅館から持ち寄った源泉を関係者が地蔵に献上する「献湯の儀」などがありました。



自分の旅館名が書かれた地蔵に、源泉を献湯する関係者

岩永悦朗組合長は「去年は温泉湧出50周年で足湯を作ったり、いろいろなイベントをしたりしました。今年は新『菊池市』の誕生で観光の財産も増えました。これからは先人や先輩たちが築いてきた菊池温泉を守り、次の50年に向けて進んでいきたいと思っています」と話されました。

この祭りは、毎年この時期に開かれています。

### 春を満喫 4月3日(日)第5回きくちさくらまつり

菊池市民広場で午後1時からさくらまつりがあり、親子連れなど約300人でにぎわいました。晴れ間が見える会場では、菊池雲上太鼓保存会の太鼓演奏や白龍一番隊のよさこい演舞などがありました。「風船お兄さん」こと藤岡秀和さんが登場し、犬のブードルや人気アニメキャラクターなどを次々と風船で作ると、会場の子どもたちからは大きな歓声があがっていました。

また、会場では菊の城の新酒発表会や餅つき体験、特産品販売などもありました。



「風船お兄さん」の手からは次々とかわいい風船のブードルなどが生まれていました